

骨粗しょう症の検査って何？

医療法人

整形外科

リハビリテーション科

西さっぽろ病院

骨の中にあるカルシウム、マグネシウムなどのミネラル成分が、どのくらいの量あるのかを計測するものです。

* 骨粗しょう症は骨の強度が低下し、骨の密度が低くなり骨自体がもろくなってしまいう疾患です。骨粗しょう症になってしまうと、少しの衝撃で骨折したりしてしまいます。

女性（特に閉経後）は骨密度（骨量）を維持するホルモン（エストロゲン）が、加齢や閉経に伴い分泌される量が少なくなるため、リスクが高いと言われています。



骨密度を測定することで骨粗しょう症の診断や骨折危険性の評価が可能となります。当院では信頼度が高いといわれているDEXA法（デキサ法）を用いて骨密度検査を行っています。測定に用いるX線はきわめて微量ですので、気軽に検査を受けていただくことが可能です。



当院に導入された
GE社製 X線骨密度測定装置 Choral

検査はどのようにするの？



装置のベッドに寝るだけで5分程度で終わります。

* 検査方法は、検査用ベッドに寝ていただき、測定部位の位置を決め、微量のX線を使用し、腰椎と大腿骨をそれぞれ測定します。測定中は動かないように寝ていただくだけで息止め等も必要ありません。検査は5分程度で終了します。

診断結果は？

医療法人

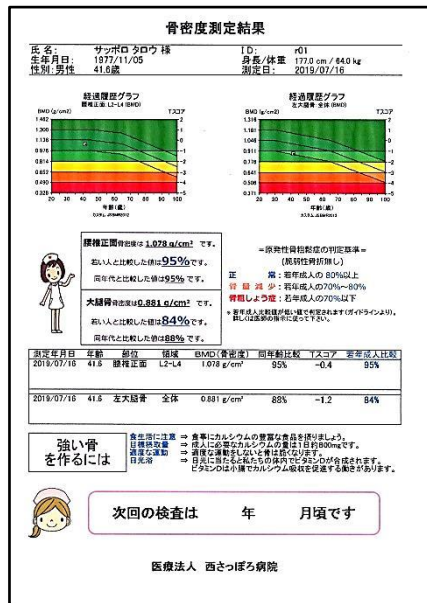
整形外科

リハビリテーション科

西さっぽろ病院

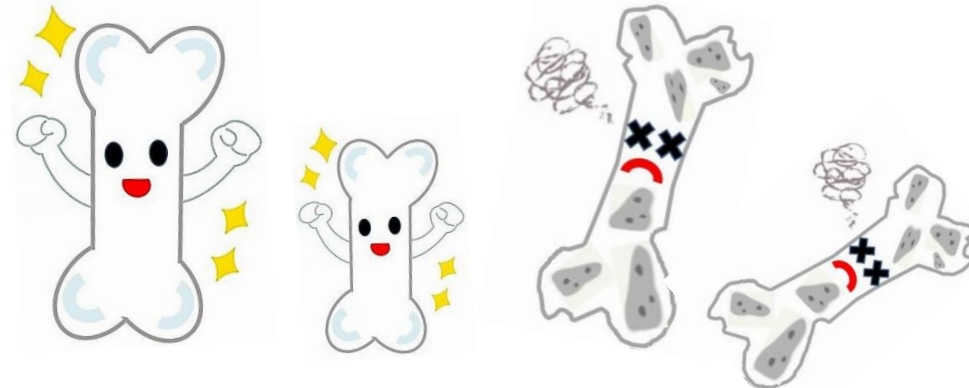
分かり易い結果レポートを差し上げます。

* 検査を受けられた方には、検査結果を数値とグラフで分かりやすく記載したものをお渡しさせていただきます。



患者さんにお渡しする測定結果レポート

骨量は加齢と共に減少します。骨量の減少は生理的なものであり、いったん減少した骨量を回復させることは困難です。そのため骨量の減少の予防及び骨折の予防が重要となります。



定期的な骨密度検査を！

～健康な方でも男性は70歳から・女性は40歳から定期的な測定をお勧めします～

被ばくが少なく、時間も5分程度で終わる検査ですので、骨粗しょう症によるQOL（生活の質）の低下を防ぐためにも定期的な骨密度測定をご検討下さい。